

2019年3月ワークショップについて

- 2019年3月ムクタプル村にて、ワークショップの実施を計画中
- ワークショップの主な内容(案)
 - 過去の気象災害(強風、洪水、ひょう、雷など)に関する村人の体験を報告しあい共有する。
 - 過去の気象災害体験を振り返り「こうすればよかった」「こうしてよかった」といったこと互いに検討しながら共有する。
 - 研究者は、住民個々の体験や考えを専門的な知見(一般的学術的知見やこれまでのムクタプル村での聞き取り調査の結果からの考察等)を適宜加えながら、防災のための教訓として住民間の共有を図る。
 - これまでの独自気象観測のデータを用いて地域の気象特性(雨の季節変化等)を伝えることで、気象の特徴の理解に基づく防災意識の醸成を図る→住民に地域の気象特性を提示するための観測データの整理と解析を気象班で取り組む。
- 浅田さんとの共催とする